

## 各課題の主な確認事項について

## 1. 全般について

- 平成31年4月1日時点の人口等各種データ
  - ※在宅要支援者、医療機関の入所者数、社会福祉施設入所者数、学校等の児童数、避難すると健康リスクが高まる者といったデータについて確認
- 避難等に使用する各種車両数

## 2. PAZ・準PAZにおける半島・離島の孤立化対策について

- 津波や土砂災害といった自然災害時における避難先施設
- ヘリポート適地
- 着岸可能な港

## 3. PAZ・準PAZにおける要支援者対策について

- 要支援者等の避難車両のタイプ別必要台数、確保台数
- 避難先施設及び避難経路
- 個別避難計画

## 4. PAZ・準PAZにおける一般住民対策について

- 自家用車避難できない場合のバスの必要台数、確保台数
- 船舶（定期船・チャーター船）の保有隻数等

## 5. UPZにおける対策について

- 医療機関、社会福祉施設等の避難先施設、必要車両数、個別避難計画等
- 学校等の児童等の親への引き渡しのタイミング、個別避難計画等
- 一時移転等、避難実施単位ごとの人数、避難先施設
- 一時移転等の基本経路、代替経路、安定ヨウ素剤の備蓄場所、緊急配布場所、避難退域時検査場所候補地
- 全面緊急事態に至った際に退避する場所
- モニタリングポストと避難実施単位の紐づけ

## 平成30年度原子力防災訓練結果について

## 1 実施概要

- (1) 日 時 平成31年1月24日（木）午前9時から午後1時30分まで  
 (2) 参加機関 国，県，警察本部，県内全市町村，自衛隊など合計120機関  
 (3) 参加者数 約21,500人  
 （うち屋内退避を実施した児童・生徒等 約20,000人，住民避難者 約190人）  
 〈参加者内訳〉

区分	参加者数（名）
職員	1, 262
参加住民	187（避難：73，屋内退避：114）
消防団	39
協力者*	18
保育所	3, 426
幼稚園	774
小学校	10, 278
中学校	4, 874
高校	616
計	21, 474

\*婦人会等避難所運営協力者

## 2 実施結果

## (1) 緊急時通信連絡訓練

- ・ 女川原子力発電所からの事業者通報や，国の指示等についてファクシミリを用いて関係機関に通信連絡を行い，一連の連絡体系を確認できた。
- ・ 全市町村等を対象とした通信連絡において，参加機関の一部でファクシミリの受信の遅延や不着があった。

## (2) 災害対策本部運営訓練

- ・ 県庁内に県災害対策本部，オフサイトセンター内に県現地災害対策本部を設置し，各拠点や防災関係機関と連携して情報収集や各種調整を行い，「防護措置の実施方針」の作成手順を確認できた。

県災害対策本部会議  
（県庁庁議室）県災害対策本部事務局における活動  
（県庁講堂）原子力災害合同対策協議会 会議  
（暫定オフサイトセンター）

## (3) 原子力災害合同対策協議会等活動訓練

- ・ オフサイトセンター内において，国，県，市町及び関係機関が連携して情報収集や調整を行うとともに各種会議を開催し，一連の対応を確認できた。

#### (4) 緊急時モニタリング訓練

- ・ オフサイトセンター内に緊急時モニタリングセンターを立ち上げ、運営を行うとともに、訓練の一連の流れと連動したモニタリングを実施し、関係者間の連携と一連の手順を確認できた。

#### (5) 広報訓練

- ・ 緊急速報メールや防災行政無線等により避難等の防護対策に係る指示を広報し、結果は概ね良好であった。
- ・ 漁業用無線を使用した船舶への広報を初めて実施し、結果は概ね良好であった。
- ・ 訓練当日の暴風の影響等により、ヘリコプターを使用した海域への広報は中止した。

#### (6) 原子力災害医療活動訓練

##### ① 避難退域時検査

- ・ 避難車両や住民に対して放射性物質の付着状況の検査を行い、基準値を超過していた場合には、除染を行い、一連の手順を確認できた。
- ・ 検査後の一部の車両に通過証が配布されなかった。

##### ② 汚染傷病者搬送訓練

- ・ 女川原子力発電所で発生した汚染傷病者4名を石巻赤十字病院に搬送し、トリアージを実施した後、うち2名を東北大学病院及び国立病院機構仙台医療センターに搬送した。
- ・ 各原子力災害拠点病院では、汚染傷病者に対して、他院から派遣された原子力災害医療派遣チームと連携して医療措置を実施することにより、各種対応の手順を確認できた。
- ・ 高度被ばく医療支援センターへの転院先として福島県立医科大学を想定し、汚染傷病者の搬送に関する通信連絡の手順を確認できた。

##### ③ 安定ヨウ素剤緊急配布

- ・ U P Z内から一時移転する住民に対し、東松島市及び美里町内の一時集合場所並びに避難退域時検査場所において安定ヨウ素剤の緊急配布を初めて実施し、一連の手順を確認できた。



避難退域時検査  
(美里町トレーニングセンター)



原子力災害医療チームとの連携処置  
(石巻赤十字病院)



安定ヨウ素剤の緊急配布  
(東松島市鷹来の森運動公園)

## (7) 住民避難訓練

### ① 住民避難

- ・ 避難先自治体が参加する住民避難を初めて実施した（女川町は栗原市，石巻市は大崎市，東松島市は仙台市）。
- ・ バスや自家用車による住民避難や，避難所受付ステーション及び避難所の設置・運営を行い，結果は概ね良好であった。
- ・ 訓練当日の暴風の影響により，巡視艇やヘリコプターによる女川町内の離島における住民避難は中止した。

### ② 学校等への屋内退避

- ・ U P Z内の学校等において屋内退避を行い，結果は概ね良好であった。

### ③ 社会福祉施設への避難

- ・ 施設ごとに策定した避難計画に基づき，U P Z内社会福祉施設から予めマッチング先として選定したU P Z外社会福祉施設への避難や通信連絡訓練を実施し，一連の手順を確認できた。



避難所受付ステーションでの受付  
(仙台市泉総合運動公園)



避難所での受付  
(大崎市中央公民館)



放射線防護施設への屋内退避  
(旧女川町江島自然活動センター)